

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公開番号】特開2002-237995(P2002-237995A)

【公開日】平成14年8月23日(2002.8.23)

【出願番号】特願2001-33362(P2001-33362)

【国際特許分類】

H 04 N 5/243 (2006.01)

G 03 B 19/02 (2006.01)

H 04 N 5/20 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/243

G 03 B 19/02

H 04 N 5/20

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月23日(2007.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 結像された被写体像を光電変換して電子的な画像データを得るための撮像手段と、該撮像手段による撮影時のシーンの輝度情報を検出する輝度検出手段と、前記撮像手段により得られた画像データに対し、階調変換処理を行う階調変換手段と、前記輝度検出手段により検出された輝度情報に応じて、階調変換特性を変更するように前記階調変換手段を制御する制御手段とを備え、前記制御手段は、前記輝度検出手段により検出された輝度情報の値の増減に応じて、コントラストが増減するように階調変換特性を変更すべく、前記階調変換手段を制御することを特徴とする電子カメラ。

【請求項2】 前記制御手段は、前記輝度検出手段により検出された輝度情報が所定値より高いときに、基準となる階調変換特性よりコントラストが高くなるように階調変換特性を変更すべく、前記階調変換手段を制御することを特徴とする請求項1に係る電子カメラ。

【請求項3】 前記制御手段は、前記輝度検出手段により検出された輝度情報が所定値より高く、且つ、そのシーンのコントラストが所定値より高いときには、基準となる階調変換特性によって階調変換処理を行うように前記階調変換手段を制御することを特徴とする請求項1に係る電子カメラ。

【請求項4】 前記制御手段は、前記輝度検出手段により検出された輝度情報が所定値より低いときに、基準となる階調変換特性よりコントラストが低くなるように階調変換特性を変更すべく、前記階調変換手段を制御することを特徴とする請求項1に係る電子カメラ。

【請求項5】 前記制御手段は、前記輝度検出手段により検出された輝度情報が所定値より低く、且つ、そのシーンのコントラストが所定値より低いときには、基準となる階調変換特性により階調変換処理を行うように前記階調変換手段を制御することを特徴とする請求項1に係る電子カメラ。

【請求項6】 被写体に向けて発光を行うストロボ手段を備え、前記制御手段は、前

記ストロボ手段による発光が行われたときに、基準となる階調変換特性により階調変換処理を行うように前記階調変換手段を制御することを特徴とする請求項1～5のいずれか1項に係る電子カメラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記問題点を解決するため、本発明は、結像された被写体像を光電変換して電子的な画像データを得るための撮像手段と、該撮像手段による撮影時のシーンの輝度情報を検出する輝度検出手段と、前記撮像手段により得られた画像データに対し、階調変換処理を行う階調変換手段と、前記輝度検出手段により検出された輝度情報に応じて、階調変換特性を変更するように前記階調変換手段を制御する制御手段とを備え、前記制御手段は、前記輝度検出手段により検出された輝度情報の値の増減に応じて、コントラストが増減するよう~~に階調変換特性を変更すべく、前記階調変換手段を制御するようにして~~電子カメラを構成するものである。